

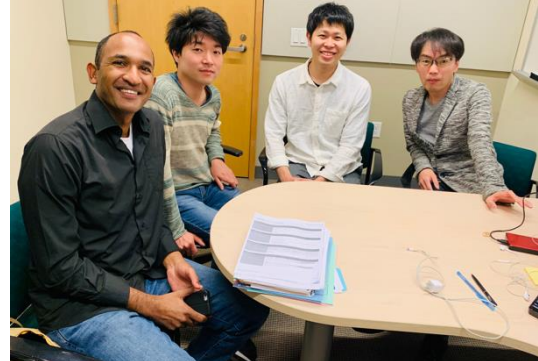
拠点形成研究交流報告：カリフォルニア大学デービス校訪問・酸化脂質に関する共同研究打ち合わせおよびシンポジウム

2019年3月17-20日に、機能分子解析学の伊藤隼哉先生とともに、協力校のカリフォルニア大学デービス校(UC Davis)のFood Science and Technologyを訪問し、拠点メンバーのAmeer Taha先生および、乙木百合香さん、板谷麻友子さんと共同研究打ち合わせ、およびミニシンポジウム(“Towards creating esterified lipid standards for exploring lipid biology”)に参加しました。

18-19日は、共同研究捗情報を確認するとともに今後の研究指針を話し合いました。特に、共同研究テーマである酸化脂質解析に必須な酸化脂質標準品の作製方法について深く議論することができ、今後の共同研究の発展に大いに繋がることが期待されます。また、来年度UC Davisにて開催されるシンポジウムに関する打ち合わせも行い、具体的な内容と日程調整もすることができました。20日は、Ameer Taha先生の主催のもと、ミニシンポジウムが開催され、UC Davisの教員と学生を合わせた計13名が参加されました。本シンポジウムでは、筆者、伊藤先生、乙木さんを含め、9題の研究発表があり、それぞれの発表で活発に議論がなされました。本訪問を通して、特に拠点メンバーのAmeer Taha先生と交流を深めることができ、今後より強固な共同研究がなされることが期待されます。



シンポジウムでの議論



共同研究打ち合わせ



シンポジウムにて

(文: 仲川清隆 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学教授)